| 部課名 | 政策経営部企画政策課 |
|---|---|
| 課の使命 | 誰もが夢を描くことができ、幸せを感じられるようなまちだの未来をつくり、”なんだ かんだ まちだ”と思えるまちを実現します。<br>まちだの未来をつくるため、以下の政策形成及び庁内各部課の支援を行います。<br>・市民の意思を適切に反映した市政運営となるよう、お客様の意見に耳を傾け、環境変化に対応した政策を打ち出します。<br>・各部課に対し、施策や事務事業に必要な情報を提供し、総合的な調整を行います。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | まちだ未来づくりビジョン2040、町田市5ヵ年計画22-26の推進 | — | ①施政方針及び市政運営の基本的な考え方を作成します。<br><br>②まちだ未来づくりビジョン2040及び町田市5ヵ年計画22－26の進捗管理を行います。<br><br>③企業版ふるさと納税の寄附件数の向上を図ります。 | ①市政運営の基本的な考え方の通知の前倒し<br><br>②各部へのアプローチ回数<br><br>③寄附件数 | ①7月通知<br><br>②年3回<br><br>③10件 | | | | | | | | |
| 2 | まちだ未来づくりプラン、町田市5ヵ年計画17-21の総括 | — | まちだ未来づくりプラン（まちづくり基本目標）の10年間と町田市5ヵ年計画17-21（重点事業プラン）の2020年度の取組状況や実績を取りまとめ、公表します。 | まちだ未来づくりプラン、町田市5ヵ年計画17-21の総括の作成 | 公表 | | | | | | | | |
| 3 | 業務の効率化 | — | テレワークや時差勤務を活用し、時間外勤務を削減します。 | 時間外勤務の時間数 | 1人当たり年120時間以内 | | | | | | | | |
| 4 | 部の組織力向上 | — | 研修や訓練を行い、コミュニケーションをとることで、ストレスの少ない職場風土を醸成し、個人ではなく、組織（チーム）で業務を行う力を高めます。 | ストレスチェックにおける部内の高ストレス者（C判定）の割合 | 12.0%（2021年度全庁平均）以下 | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部企画政策課　政策研究担当 |
|---|---|
| 課の使命 | 現在及び近い将来の東京圏・町田市の社会経済情勢の変化を調査及び検討し、町田市の進むべき方向性を提示するとともに、町田市が直面する課題に関する必要な調査及び研究を行い、成果を庁内に提供することで、市の政策形成に寄与し、市が直面する課題の解決につなげます。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | アフターコロナにおいて求められる施策の方向性の作成（短期的） | — | いわゆる「アフターコロナ」における郊外都市に求められる都市機能や公共サービス等について、町田市の現状把握のための基礎調査や外部環境に関する情報収集等、有識者ヒアリングによるアドバイスを得ながら、市として取り組むべき施策の方向性を作成します。 | ①施策の方向性の作成<br>②情報発信 | ①施策の方向性の取りまとめ<br>②3回 | | | | | | | | |
| 2 | 会議におけるリモート化の促進 | — | 庁内における担当者間の打ち合わせ等や庁外における事業者との会議等のリモート化率を高めます。 | 会議全体に占めるリモート会議の割合 | 80% | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部企画政策課　公共施設再編担当 |
|---|---|
| 課の使命 | 公共施設等マネジメントを着実に進めることで、財政状況が厳しさを増す中においても、時代のニーズに対応した公共サービスの維持向上を図ります。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | 周知・宣伝活動 | 個別計画 | ①公共施設再編計画を着実に推進していくため、広報紙への掲載など市民の皆様の目にふれる方法で、継続して情報を発信します。また、SNSの活用など新たな手法の広報・周知活動を実施します。<br><br>②公共施設再編の取り組みについて「みんなで考える場」を開催します。<br><br>③市民の皆様との対話やアンケートによる意見収集を行うなど、サイレントマジョリティ（声なき大多数）のご意見を大切にして進めていきます。 | ①広報紙等での周知回数<br><br>②「みんなで考える場」開催回数<br><br>③意見収集数 | ①7回<br><br>②9回<br><br>③500件 | | | | | | | | |
| 2 | 再編の取り組み | 経営改革プラン | ①公共施設の再編は、庁内組織である「町田市公共施設等マネジメント委員会」等において総合的に検討し、短期再編プログラムを計画的かつ効果的に推進していきます。<br><br>②「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」の各プロジェクトを推進します。プロジェクトC（教育センターの複合化）に向け、「教育センター複合施設整備基本計画」を策定します。また、プロジェクトB（保健施設の集約）の基本計画の検討に着手します。<br><br>③公共施設等総合管理計画の一部更新を実施します。 | ①委員会等開催数<br><br>②-1 教育センター複合施設整備基本計画策定<br><br>②-2 新保健施設整備基本計画検討着手<br><br>③公共施設等総合管理計画の一部更新 | ①18回/年<br><br>②-1 策定<br><br>②-2 着手<br><br>③一部更新 | | | | | | | | |

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 3 | 業務の効率化 | — | ①②業務の効率化を図るため、テレワークの実施やリモート会議、資料の電子化、書面会議への切り替えなどを行い、時間外勤務を削減します。 | ①テレワークの実施日数<br><br>②時間外勤務時間数 | ①3回/月一人あたり<br><br>②287時間/年 | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部経営改革室 |
|---|---|
| 課の使命 | ・「まちだ未来づくりビジョン2040」の目指す姿の実現に向け、市民のニーズを的確に捉え、市民の期待に応えられる行政経営を目指します。<br>・市長が迅速・的確に経営判断が行えるよう、トップマネジメントを支えます。<br>・部門横断的な課題の解決に向けて、各部署を支援します。<br>・市役所の生産性向上や行財政資源の効果的な活用のため、経営改革を推進します。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | 経営改革プランの推進 | 経営改革プラン | 町田市行政経営監理委員会を開催し、専門委員の助言・提言を踏まえた行政経営を実践します。 | 行政経営監理委員会からの助言・提言の市政への反映数 | 5件 | | | | | | | | |
| 2 | 市民参加型事業評価の実施 | 経営改革プラン | 市民と行政課題や問題意識を共有するとともに、市民の声を行政経営、行政サービスの向上に活用するため、「町田市市民参加型事業評価※」を11月に開催します。また、評価結果を踏まえた「改善プログラム」を作成し、公表します。<br><br>※市民と有識者で構成する評価人チームが、市の事業担当者と事業の課題や解決策について議論し、評価するものです。市は、評価結果を踏まえ、事業の改善を進めます。 | ①市民参加型事業評価の開催<br><br>②評価人の市民参加型事業評価事業への満足度 | ①開催<br><br>②90%以上 | | | | | | | | |
| 3 | 事務事業の見直し | 経営改革プラン | ①各課の主体的活動を支援する「業務改善プロジェクト」により、市役所業務の見直しを進めます。<br><br>②“e-まち”実現プロジェクトにおいて、市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上を目的に、取組を推進します。 | ①業務改善プロジェクトの実施業務数<br><br>②“e-まち”実現プロジェクトの取組件数 | ①3業務<br><br>②5件 | | | | | | | | |

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 4 | 「経営品質向上活動」の推進 | 経営改革プラン | 「経営品質向上活動※」を推進するため、経営品質に関する研修、講演会及び情報発信等を実施します。<br><br>※社会環境の変化に合わせて、市民目線と比較の視点をもち、常に問題意識をもって業務に取り組むとともに、自分の業務を見直すことです。 | 「経営品質向上活動」を意識している職員の割合 | 76% | | | | | | | | |
| 5 | 庁内全体に関わる行政課題やその他重要な案件に関する情報の収集、整理及び調整 | — | 重要な案件や部門横断的な行政課題について、円滑な事業運営を図ることで、トップマネジメントを支えます。 | 経営会議の承認及び経営改革プランの推進につながった取組件数 | 10件 | | | | | | | | |
| 6 | 包括外部監査の実施 | — | ①従来の監査委員制度に加えて、監査機能の専門性・独立性を充実させるとともに、市民の信頼を高めるため、市の組織に属さない包括外部監査人（公認会計士等の有識者）による市の財務監査を実施します。<br><br>②包括外部監査人から受けた指摘事項等について、改善に向けた取組を進めます。 | ①包括外部監査の実施<br><br>②包括外部監査の措置率（2017～2021年度実施分） | ①実施<br><br>②90% | | | | | | | | |
| 7 | マネジメント改革による業務効率化 | — | 時差勤務やテレワーク等を活用し、庶務業務や企画業務に集中して取り組める時間を確保することで、業務の生産性向上を図ります。 | 時間外勤務の時間/年度 | 2,531時間以内（2019年度比30%削減） | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部秘書課 |
|---|---|
| 課の使命 | ・市長の政策判断、行政運営がスムーズに行われるように、市長と庁内のパイプ役となり、打合せ等のための適切なスケジュール管理や正確な情報の収集と提供につとめます。<br>・市長と町内会・自治会等の市政協力団体、議員や各市町村等の庁外の良好な関係づくりをサポートし、市長の政策目標実現のための環境を整備します。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | 適切な日程の管理 | — | 理事者の予定の調整等を行いながら、適切な日程管理を行い、市長の決裁等に係る執務時間を確保します。併せて、理事者と担当部課との打合せが円滑に行われ時間短縮が図られるように、資料作成のポイントについて、引き続き全庁に情報発信していきます。 | 市長の決裁等に係る執務時間の平均 | 月24時間 | | | | | | | | |
| 2 | 課内研修 | — | 市民の方やお客様との応対の際には、より丁寧な対応が求められます。また、理事者の庁外交際時に同行した際には、その場に即したマナーが求められます。秘書課職員としての知識や能力を高めるための研修を実施します。 | 課内研修の実施 | 2回 | | | | | | | | |
| 3 | 秘書業務支援システムに即した効果的な運用方法の検討 | — | 理事者との打合せの予約受付方法について、システムの運用に合わせた電話以外の具体策を検討します。事務の効率化による時間外勤務時間の削減を図ります。 | 時間外勤務時間の平均 | 月16時間 | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部広報課 |
|---|---|
| 課の使命 | ○市とお客さまとの接点・橋渡し役となります。<br>○市民が市政に興味を持ち、参加したくなる広報活動を目指します。<br>○市民の町田への愛着・誇りの向上、市外からの町田への関心・憧れの醸成を図ります。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | デジタルを活用した広報活動の促進 | 経営改革プラン | SNSによる情報発信について認知度を高め、市民が情報を得る手段の選択肢の幅を広げます。 | LINE、メール配信、Twitter・Facebookの東京都町田市（防災・安全・気象情報）の登録者数 | 登録者数5%増加 | | | | | | | | |
| 2 | 情報発信する場の提供 | 経営改革プラン | 市民・団体・事業者など多様な主体が町田の魅力を積極的に発信する場を作ります。 | 情報発信する場の提供回数 | 6回 | | | | | | | | |
| 3 | シティプロモーションの推進 | 重点事業プラン | ・町田の認知・関心獲得のため、FAXリリースや記者会見を実施します。<br>・町田市の暮らしへの共感獲得のため、メディアプロモートやPRコンテンツの作成を行います。 | 広告換算額 | 426百万円 | | | | | | | | |
| 4 | 職員の広報力アップ | 経営改革プラン | ・職員の広報力向上のための研修を行います。<br>・情報発信後、発信内容、成果を分析し、担当課と共有します。 | ①研修の実施回数<br><br>②リリースのメディア掲載結果のフィードバック回数 | ①3回<br><br>②2回 | | | | | | | | |
| 5 | 業務効率化 | ― | ・情報共有や仕事の見える化を進めるとともに、業務の効率化を図ります。 | 広報課業務バイブルの作成 | 作成 | | | | | | | | |

| 部課名 | 政策経営部広聴課 |
|---|---|
| 課の使命 | ・町田市へ寄せられる市民の声から、市民ニーズを多角的に分析して政策課題を導き出します。<br>・市政に対するご要望やご意見がある人、市政に関する情報が必要な人へ適切な回答・案内・情報提供を実施し、町田市への信頼を高めます。 |

実行計画（年度目標）

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | 大学と連携した応対記録の分析 | 経営改革プラン | 大学と連携して、代表電話の応対記録を分析し、市の改善課題を抽出します。 | 大学と連携した応対記録分析の実施回数 | 1回 | | | | | | | | |
| 2 | 無作為抽出アンケート調査の実施 | 経営改革プラン | 無作為抽出により選出した市民を対象にアンケート調査を実施し、業務改善につなげます。 | 調査回数 | 2回 | | | | | | | | |
| 3 | Webアンケート調査の実施 | 経営改革プラン | Webアンケート調査を実施し、市民の意向や関心を迅速に把握するとともに、効率的に集計等を行います。 | 調査回数 | 12回 | | | | | | | | |

| | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 順位 | 取組項目 | 計画類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 目標値に対する実績値 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 4 | 専門相談におけるWeb会議アプリの導入 | 個別計画 | 市民の利便性を向上するため、市役所に来庁することなく相談できるよう、専門相談におけるWeb会議アプリを導入します。 | Web会議アプリを使用した専門相談の種類 | 8種類 | | | | | | | | |
| 5 | 専門相談窓口の充実 | 個別計画 | 休日や市民センター等施設での無料相談会を行い、身近で気軽に相談できる機会を増やし、お悩みの解決に役立てます。 | 市役所以外での相談会実施回数 | 5回 | | | | | | | | |